

# 人間形成の基礎科目

## 文化の領域

人間形成の基礎科目「文化の領域」は、一般教育部が提供する1群科目において中核を成す科目群の1つです。1群科目は、大きく分けると、教養教育科目と基礎教育科目に分けることができます。基礎教育科目（英語、数理・情報、自然科学系各科目等）は、2年次以降に配当されている2群・3群科目（各専門分野に関わる科目）を履修する上での基礎的な知識を身につけてもらうための科目群ですが、教養教育科目（人間形成の基礎科目、総合領域科目、教養演習系科目等）は、一言で言えば社会人としての教養を身につけてもらうための科目群です。北里大学の学生である皆さんの多くは、4年または6年間の在学期間中にそれぞれの分野の専門的な知識と技術を身につけ、卒業後は各分野の専門職に就くことを目指していると思います。しかし、有能な専門職業人であるためには、単に専門的な知識・技術を身につけているだけでは、十分とは言えません。専門的な知識・技術だけでなく、社会人としての教養を身につけている必要があります。教養のある専門職業人であればこそ、他者に重んじられ、他者の信頼を得ることができ、専門職業人としての自らの職務をよりよく果たすことができるでしょう。豊かな教養は各人の人間的な魅力をより高め、社会生活・職業生活を円滑に送るための手助けをしてくれるのです。さらにまた、豊かな教養はこの先の長い人生を送っていく上での重要な拠り所の1つともなるでしょう。そのような教養をしっかりと身につけるつもりで、皆さんには人間形成の基礎科目「文化の領域」を履修してもらいたいと思います。

「文化の領域」に含まれる科目には、哲学の楽しみ・科学を考える・芸術の楽しみ・倫理学・文学の楽しみ・信仰と救いがあります。これらの科目群は、人間の精神生活に関わる学問（哲学・科学哲学・芸術学・倫理学・文学・宗教学）を基盤としています。こうした科目群を履修することによって、まずは豊かな感受性を育み、きちんとした倫理意識を養い、自立した大人としての自覚を深めてもらいたいと思います。その上でさらに、自分自身の頭で物事を考えることを学び、責任をもって判断を下し、自分自身の判断によって適切な行動が取れるような、他者から信頼される教養のある人間になってもらいたいと思います。